



OPRTプレスリリース

平成24年8月2日

中西部太平洋まぐろ資源管理の促進を —OPRTがWCPFCへ要請—

OPRT（社）責任あるまぐろ漁業推進機構は、グレン・ハリー WCPFC（中西部太平洋まぐろ類委員会）事務局長に、8月1日、下記の書簡を送付し、WCPFCの次回年次会合（12月フィリピン マニラ市で予定）において、停滞している資源管理に具体的な解決を図るよう要請した。

これに対し、ハリー事務局長は、8月2日、「OPRTの懸念を理解する。その書簡を加盟国に送付し、事態の改善を検討するよう求める」と回報してきた。

書簡を送付したOPRT原田雄一郎専務は、「WCPFCの現状は、放置しておけば、いずれ、中西部太平洋で持続的にまぐろ漁業を行うことができなくなるだろう。結局、遠洋漁業国のみならず、島嶼国も含め全ての関係者にとって不幸な結果を招く。」と述べ、事態の早急な解決の必要性を訴えている。

OPRTは、この書簡を全ての生産団体会員（15カ国、17団体）に送付し、各自、自国政府にも働きかけるよう求めている。

[書簡要旨]

OPRTは、5月16日、東京で会員会合を開催し、中西部太平洋におけるまぐろ資源管理問題について意見交換した。会議に参加できなかった会員には、その結果を通知し、意見を求めた。

その結果、O P R Tの全会員は、現状について下記の問題があると認識していることを確認した。

1. メバチの規制措置について、より効果的な管理措置の導入が必要であるにもかかわらず、今年は、前年の措置を単純延長することとなった。
2. 昨年7月、マグロ資源管理機関合同会議で採択された大型まき網漁船の漁獲能力抑制勧告が実施されていない。
3. 近年、大型はえ縄漁船と匹敵する漁獲能力を有する小型はえ縄漁船が増加、その漁獲能力の増加が資源に与える影響が懸念される。

次回年次会合において、上記問題点について、具体的な解決策が採択されるよう、尽力を要請する。

(問合せ先)

(社) 責任あるまぐろ漁業推進機構
事務局長：田端 事業部長：人見
TEL：03-3568-6388
FAX：03-3568-6389
Eメール：hitomi@opr.or.jp